

2006 年度

科目名 演習 I	対象学科・学年 文学部日文3回生	担当者 小林 健二
授業テーマ 文学研究の方法を学ぶ		
授業の概要と目標 中世文学研究における問題設定の仕方や研究の方法について学ぶことを目的とします。		
評価方法 課題に取り組む姿勢（50%）、レポート（50%）		
テキスト 授業中にプリントを配布します。	著者	出版社
参考書 演習のガイダンスで紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 〈前期〉1・2回の専門教科で学んだ基礎的な解釈力を確認するために、お伽草子を題材として輪読を行います。 輪読担当者は、分担部分の本文の校訂・語釈・現代語訳の作業を行い、資料を作成の上で発表をします。 また、それらの作業や発表を通して、自分なりの問題意識を掘り起こして、前期末にレポートを提出してもらいます。 〈後期〉中世文学（お伽草子・語り物・謡曲・説話など）を題材として、各自がそれぞれに考えた問題意識をもとに研究発表を行います。発表の手順は次の通り。 1 夏休み明けに各自が考えた研究テーマを400字以内で提出する。 2 発表資料はB4版で3枚以内を原則とする。 3 発表時間は30分以内を原則とする。 4 発表者以外の者も演習に積極的に参加するために、一つの発表が終わったあと、その発表に対する評価を書いて提出し、それを題材に質疑応答をする。 以上ですが、後期末には各自の発表をもとにして、研究テーマをまとめたレポートを提出してもらいます。		